

農林19号 NiTn19

茎数が多く、3作型で多収

- 分げつが旺盛で、茎数に安定感のある茎数型品種です。
- 春植え、夏植え、株出しの3作型で農林9号(Ni9)、F177よりも収量が多く期待できます。



農林19号(NiTn19)は、
平成17年に
**沖縄県八重山地域及び
本島北部地域向け**の
奨励品種に採用されました。

■主要な生態的特性

	発芽性	分げつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
NiTn19	良	強	中	少	強	やや難
Ni9	中	強	良	多	強	難
F177	良	やや弱	やや不良	少	弱	易

■病害抵抗性

	黒穂病	モザイク病	葉焼病	さび病	葉片赤斑病
NiTn19	極強	強	中	やや強	強
Ni9	弱	中	中	やや弱	中
F177	極弱	強	強	やや強	中



立毛状態

栽培上のワンポイント

- 茎数不足で少収となるほ場での作付けに適します。
- 水はけの悪いほ場などでは発芽不良になる場合があるため注意が必要です。



協力：沖縄県農業研究センター (独)農研機構九州沖縄農業研究センター

alic 独立行政法人 農畜産業振興機構 **はさとうきび生産者の皆様を応援しています。**